

# 2018年12月期決算 参考資料

I	サマリー情報	P.1
	① 経営成績	P.1
	② 財政状態	P.1
II	2018年12月期 実績	P.2
	① 損益計算書	P.2
	② 製商品別売上高	P.4
	③ 貸借対照表	P.5
	④ キャッシュ・フロー計算書	P.6
	⑤ 設備投資の状況	P.7
	⑥ 非資金項目	P.7
	⑦ 研究開発の状況	P.7
III	2019年12月期 業績予想	P.8
	① 損益計算書	P.8
	② 製商品別売上高	P.10
	③ 設備投資の状況	P.11
	④ 非資金項目	P.11
	⑤ 配当	P.11
	【将来に関する記述等についてのご注意】	P.11

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

2019年2月6日

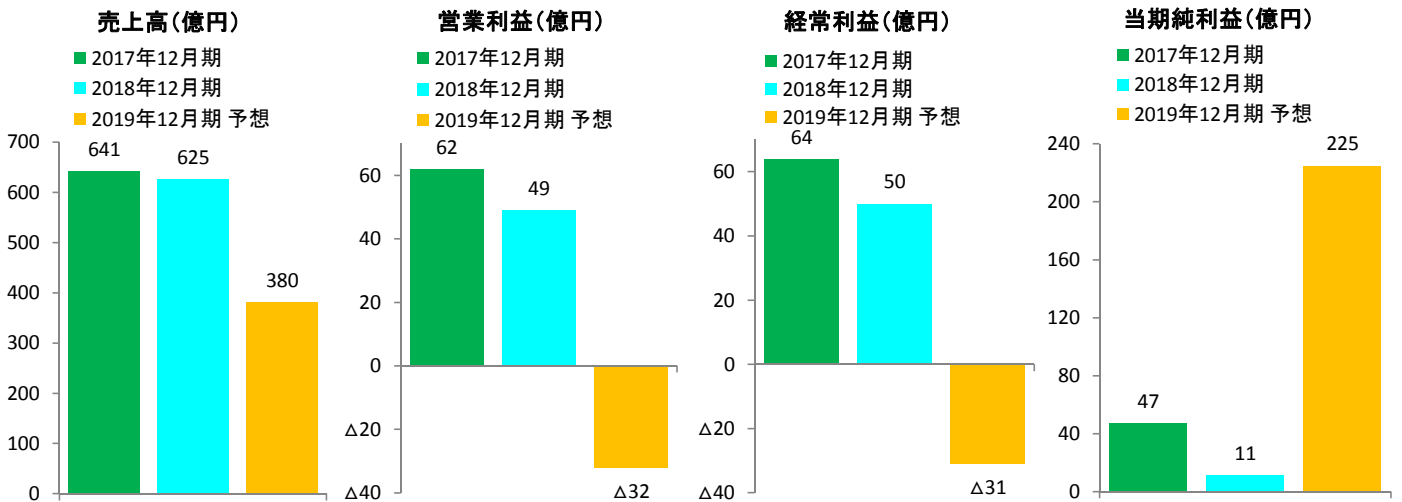


鳥居薬品株式会社

# I サマリー情報

## ① 経営成績

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2019年12月期	増減 C-B	増減率 (%) (C-B)/B
	A	B			予想 C		
売上高	64,135	62,551	△1,583	△2.5	38,000	△24,551	△39.2
営業利益	6,281	4,951	△1,329	△21.2	△3,200	△8,151	-
経常利益	6,403	5,080	△1,322	△20.7	△3,100	△8,180	-
当期純利益	4,718	1,164	△3,553	△75.3	22,500	21,335	-
(参考)							
研究開発費	4,608	4,138	△470	△10.2	3,300	△838	△20.3
1株当たり当期純利益(EPS) (円)	168.22	41.51	△126.71		801.82	760.31	
自己資本当期純利益率(ROE) (%)	5.5	1.3	△4.2				
総資産経常利益率 (%)	6.3	4.9	△1.4				
売上高営業利益率 (%)	9.8	7.9	△1.9				
総資産当期純利益率(ROA) (%)	4.6	1.1	△3.5				



## ② 財政状態

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B		
総資産	104,741	103,546	△1,195	△1.1
純資産	87,119	87,092	△26	△0.0
自己資本比率 (%)	83.2	84.1	0.9	
1株当たり純資産(BPS) (円)	3,105.68	3,103.28	△2.40	

## Ⅱ 2018年12月期 実績

### ① 損益計算書

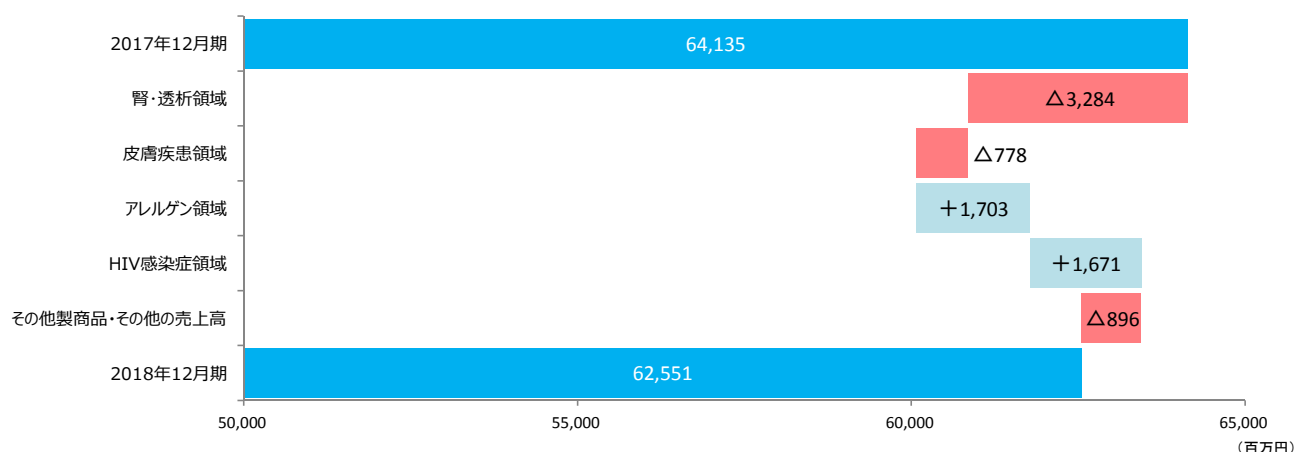
(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額 B-A	増減率 (%)
	A	B		(B-A)/A
売上高	64,135	62,551	△1,583	△2.5
製商品売上高	62,935	61,835	△1,100	△1.7
腎・透析領域	25,276	21,991	△3,284	△13.0
皮膚疾患領域	9,905	9,126	△778	△7.9
アレルギー領域	2,099	3,803	1,703	81.2
HIV感染症領域	19,777	21,448	1,671	8.5
その他	5,877	5,464	△412	△7.0
その他の売上高	1,199	716	△483	△40.3
売上原価	31,293	31,844	550	1.8
製商品売上原価	31,225	31,781	556	1.8
その他の原価	68	63	△5	△8.0
売上総利益	32,841	30,707	△2,134	△6.5
販売費及び一般管理費	26,559	25,755	△804	△3.0
販管費(研究開発費除く)	21,950	21,616	△333	△1.5
研究開発費	4,608	4,138	△470	△10.2
営業利益	6,281	4,951	△1,329	△21.2
営業外収益	133	136	2	—
営業外費用	12	7	△4	—
経常利益	6,403	5,080	△1,322	△20.7
特別損失	29	2,049	2,020	—
税引前当期純利益	6,373	3,030	△3,343	△52.5
法人税等	1,655	1,865	210	—
当期純利益	4,718	1,164	△3,553	△75.3

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2017年12月期	2018年12月期	増減
	A	B	B-A
売上原価	48.8	50.9	2.1
販売費及び一般管理費	41.4	41.2	△0.2
研究開発費	7.2	6.6	△0.6
営業利益	9.8	7.9	△1.9
経常利益	10.0	8.1	△1.9
当期純利益	7.4	1.9	△5.5

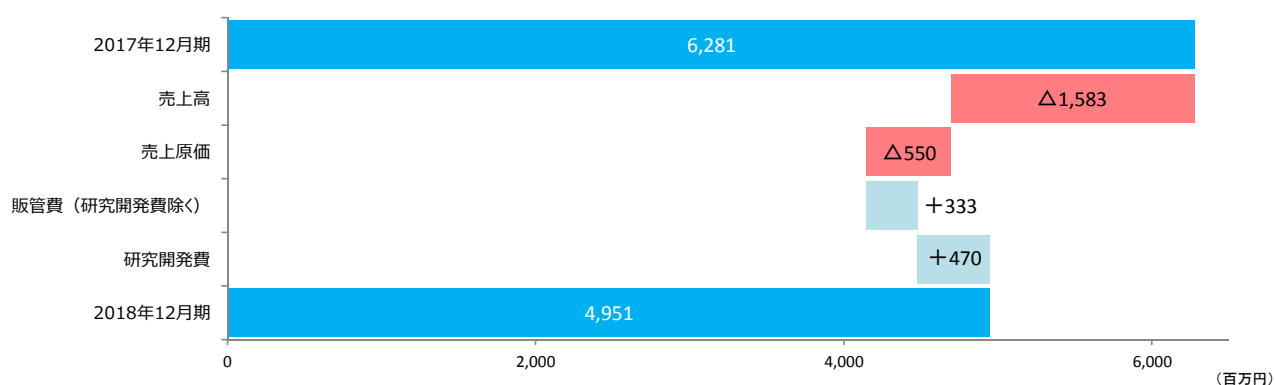
【対前期増減要因】

売上高（62,551百万円 対前期△1,583百万円）



主な増減要因				
製商品売上高	： 薬価改定及び後発品の影響による減少、販売数量の伸長による増加			
腎・透析領域	レミッチ	△2,240百万円	注射用フサン	△909百万円
	ユリノーム錠	△332百万円	リオナ錠	+357百万円
皮膚疾患領域	アンテベート	△745百万円		
アレルゲン領域	ミティキュア ダニ舌下錠	+785百万円	シダトレン スギ花粉舌下液	+563百万円
	シダキュア スギ花粉舌下錠	+405百万円		
HIV感染症領域	デシコビ配合錠	+3,249百万円	ゲンボイヤ配合錠	+1,043百万円
	ツルバダ配合錠	△2,504百万円		
その他製商品・その他の売上高	手数料収入	△447百万円		
※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照				

営業利益（4,951百万円 対前期△1,329百万円）



主な増減要因	
売上原価	： スギ花粉在庫の一過性の廃棄損失計上による増加
販管費（研究開発費除く）	： 管理費の減少
研究開発費	： 臨床試験費用（TO-206、TO-203小児鼻炎）、共同開発費用（JTE-052）の減少、共同開発費用（JTS-661、JTT-751）の増加

経常利益（5,080百万円 対前期△1,322百万円）

特記事項：特になし

当期純利益（1,164百万円 対前期△3,553百万円）

当期 事業構造改革費用（減損損失）※ 2,021百万円  
繰延税金資産の一部取崩し 467百万円

※ 詳細につきましては、本日公表しました「2018年12月期 決算短信(日本基準) (非連結)」の「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」に記載しております。

## ② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B		
製商品売上高	62,935	61,835	△1,100	△1.7
デシコビ配合錠	9,218	12,467	3,249	35.3
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
レミッチ	13,838	11,598	△2,240	△16.2
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ゲンボイヤ配合錠	6,325	7,369	1,043	16.5
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
リオナ錠	6,245	6,603	357	5.7
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
アンテベート ※	6,282	5,536	△745	△11.9
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ビオスリー	2,545	2,682	136	5.4
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ケイキサレート ※	2,123	1,963	△159	△7.5
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※	1,295	1,859	563	43.5
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
ロコイド ※	1,411	1,541	129	9.2
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ゼフナート	1,483	1,454	△28	△2.0
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
ツルバダ配合錠	3,941	1,436	△2,504	△63.5
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ミティキュア ダニ舌下錠 ※	461	1,247	785	170.4
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
注射用フサン ※	2,047	1,138	△909	△44.4
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
マグセント	1,115	967	△147	△13.3
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
ユリノーム錠 ※	1,020	688	△332	△32.6
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
その他製商品	3,579	3,280	△298	△8.3

※ 自社品

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B		
自社品売上高	16,323	15,855	△467	△2.9
自社品比率 (%)	25.9	25.6	△0.3	-

### ③ 貸借対照表

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A	構成比 (%) (当期)
	A	B			
流動資産	83,980	80,240	△3,739	△4.5	77.5
現金及び預金	6,458	3,484	△2,973		
キャッシュ・マネジメント・システム預託金	9,836	9,169	△666		
受取手形及び売掛金	29,123	27,137	△1,985		
有価証券	24,957	28,606	3,648		
たな卸資産	10,126	8,315	△1,811		
その他	3,478	3,527	48		
固定資産	20,761	23,305	2,544	12.3	22.5
有形固定資産	5,540	3,431	△2,108		
無形固定資産	817	669	△147		
投資その他の資産	14,403	19,204	4,800		
投資有価証券	7,478	13,770	6,292		
長期前払費用	5,748	4,793	△954		
その他	1,176	639	△536		
資産合計	104,741	103,546	△1,195	△1.1	100.0
流動負債	15,868	14,274	△1,593	△10.0	13.8
買掛金	8,242	6,657	△1,585		
未払法人税等	1,396	852	△544		
賞与引当金	684	675	△8		
その他	5,544	6,089	545		
固定負債	1,753	2,178	424	24.2	2.1
負債合計	17,622	16,453	△1,168	△6.6	15.9
株主資本	86,364	86,217	△146	△0.2	83.3
評価・換算差額等	745	864	118	16.0	0.8
新株予約権	9	11	1	14.3	0.0
純資産合計	87,119	87,092	△26	△0.0	84.1
負債純資産合計	104,741	103,546	△1,195	△1.1	100.0

#### 主な増減要因

##### (流動資産)

- 受取手形及び売掛金 : 売上高の減少による減少
- 有価証券 : 債券及び信託受益権の取得による増加、金銭信託の償還による減少
- たな卸資産 : 商品の減少

##### (固定資産)

- 有形固定資産 : 事業構造改革費用(減損損失)の計上による減少
- 投資有価証券 : 債券及び投資信託の取得による増加

##### (流動負債)

- 買掛金 : 商品仕入の減少による減少

#### ④ キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額
	A	B	B-A
税引前当期純利益	6,373	3,030	△3,343
減価償却費	1,174	1,040	△133
事業構造改革費用(減損損失)	—	2,021	2,021
売上債権の増減額(△は増加)	△2,562	1,985	4,548
たな卸資産の増減額(△は増加)	480	1,811	1,330
仕入債務の増減額(△は減少)	1,544	△1,585	△3,130
未払金の増減額(△は減少)	486	365	△120
長期前払費用の増減額(△は増加)	737	954	216
法人税等の支払額	△1,263	△1,855	△592
その他	△621	490	1,112
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,349	8,259	1,910
有形固定資産の取得による支出	△529	△528	0
無形固定資産の取得による支出	△260	△147	112
その他	△6,803	△26,392	△19,588
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,593	△27,068	△19,475
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,546	△1,432	113
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,789	△20,241	△17,451
現金及び現金同等物の期首残高	38,685	35,895	△2,789
現金及び現金同等物の期末残高	35,895	15,654	△20,241

(注) 現金及び現金同等物は、現金及び預金(預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除く)、キャッシュ・マネージメント・システム預託金、有価証券(取得日から償還日迄の期間が3ヶ月を超えるものを除く)からなっております。

主な増減要因	
(営業活動によるキャッシュ・フロー)	
売上債権の増減額	: 当期 売上高の減少による減少
たな卸資産の増減額	: 当期 商品の減少
仕入債務の増減額	: 当期 商品仕入の減少による減少
(投資活動によるキャッシュ・フロー)	
その他	: 当期 有価証券及び投資有価証券の取得による支出

## ⑤ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B		
設備投資額	931	811	△120	△12.9
有形固定資産	714	660	△53	△7.5
無形固定資産	217	150	△67	△30.8

### 当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資  
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

## ⑥ 非資金項目

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B		
減価償却費	1,174	1,040	△133	△11.4
長期前払費用償却費	1,061	965	△95	△9.0

## ⑦ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階（国内）					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
<b>腎・透析領域</b>								
JTT-751 「リオナ錠」	鉄欠乏性貧血	経口剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> <li>・Keryx Biopharmaceuticals, Inc.と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結</li> <li>・日本たばこ産業(株)との共同開発（適応追加）</li> <li>・日本たばこ産業(株)が2014年1月に高リン血症治療剤として製造販売承認を取得し、当社より販売中</li> </ul>
JTZ-951	腎性貧血	経口剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本たばこ産業(株)創製化合物</li> <li>・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結</li> </ul>
<b>皮膚疾患領域</b>								
JTE-052	アトピー性皮膚炎	外用剤				申請		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本たばこ産業(株)創製化合物</li> <li>・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結</li> <li>・日本たばこ産業(株)が2019年1月に製造販売承認申請</li> </ul>
	小児アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本たばこ産業(株)創製化合物</li> <li>・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結</li> </ul>
<b>アレルギー領域</b>								
TO-203 「ミティキュア ダニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠			Phase II / III 終了※			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALK-Abelló A/Sと日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結</li> <li>・自社開発</li> <li>※今後の開発方針について検討中</li> </ul>

前回公表時（2018年10月31日）からの変更点

・日本たばこ産業(株)によるJTE-052（アトピー性皮膚炎）の国内製造販売承認申請

（参考）

2017年10月に日本たばこ産業(株)が、EirGen Pharma Limitedと慢性腎臓病患者における二次性副甲状腺機能亢進症（SHPT）治療薬であるcalcifediol徐放製剤（米国での販売名「RAYALDEE®」、OPKO Health, Inc.が開発及び販売）について、日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した旨、また、製造販売承認取得後の販売については、当社が行う予定である旨、公表しております。



### Ⅲ 2019年12月期 業績予想

#### ① 損益計算書

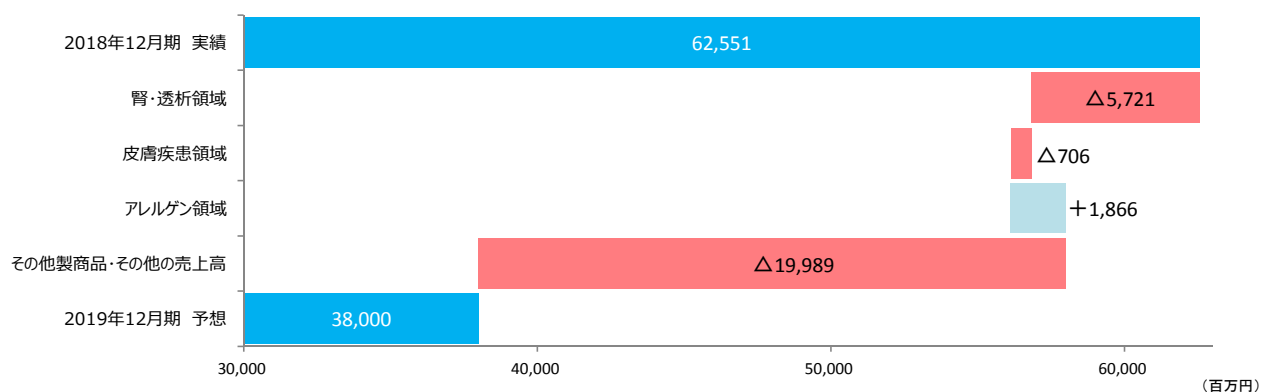
(単位:百万円)	2018年12月期	2019年12月期	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
	実績	予想		
	A	B		
売上高	62,551	38,000	△24,551	△39.2
製商品売上高	61,835	36,170	△25,665	△41.5
腎・透析領域	21,991	16,270	△5,721	△26.0
皮膚疾患領域	9,126	8,420	△706	△7.7
アレルギー領域	3,803	5,670	1,866	49.1
その他	26,913	5,810	△21,103	△78.4
(うちHIV感染症領域)	(21,448)	(-)	(△21,448)	(-)
その他の売上高	716	1,830	1,113	155.5
売上原価	31,844	19,400	△12,444	△39.1
売上総利益	30,707	18,600	△12,107	△39.4
販売費及び一般管理費	25,755	21,800	△3,955	△15.4
販管費(研究開発費除く)	21,616	18,500	△3,116	△14.4
研究開発費	4,138	3,300	△838	△20.3
営業利益	4,951	△3,200	△8,151	-
経常利益	5,080	△3,100	△8,180	-
当期純利益	1,164	22,500	21,335	-

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2018年12月期	2019年12月期	増減 B-A
	実績	予想	
	A	B	
売上原価	50.9	51.1	0.2
販売費及び一般管理費	41.2	57.3	16.1
研究開発費	6.6	8.7	2.1
営業利益	7.9	△8.4	△16.3
経常利益	8.1	△8.2	△16.3
当期純利益	1.9	59.2	57.3

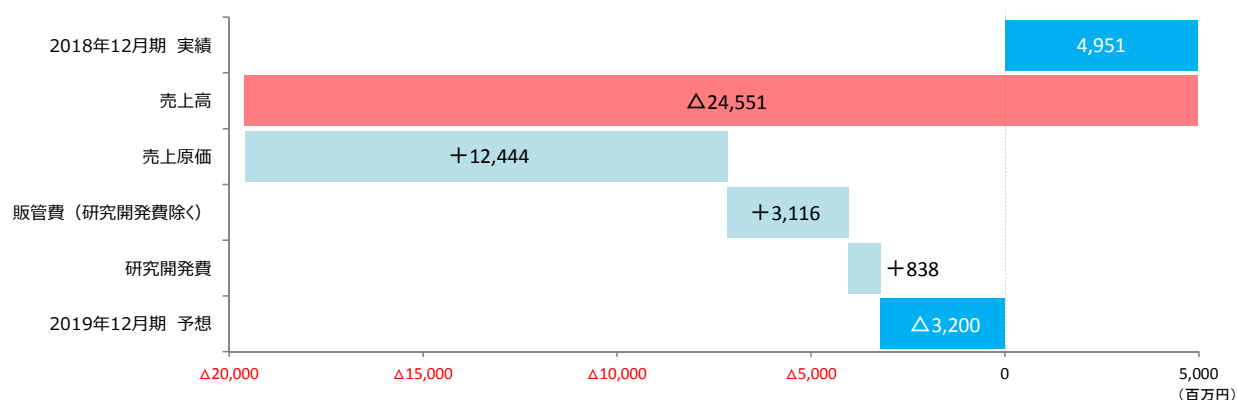
【対前期実績増減要因】

売上高（38,000百万円 対前期実績△24,551百万円）



主な増減要因				
腎・透析領域	: レミッチ	△5,148百万円	、 注射用フサン	△948百万円
		+ 546百万円		
皮膚疾患領域	: アンテベート	△646百万円		
アレルギー領域	: シダキュア スギ花粉舌下錠	+ 2,344百万円	、 ミテイクア ダニ舌下錠	+ 512百万円
		シダトレン スギ花粉舌下液	△1,009百万円	
その他製商品・その他の売上高	: HIV感染症領域	△21,448百万円	、 抗HIV薬流通手数料	+ 1,100百万円
※詳細はP.10「② 製商品別売上高」を参照				

営業利益（△3,200百万円 対前期実績△8,151百万円）



主な増減要因	
売上原価	: 売上高の減少
販管費（研究開発費除く）	: 販売促進費の減少、事業構造改革による減少（人件費等）
研究開発費	: 共同開発費用（JTS-661、JTE-052）の減少

経常利益（△3,100百万円 対前期実績△8,180百万円）

特記事項：特になし

当期純利益（22,500百万円 対前期実績+21,335百万円）

前期	事業構造改革費用（減損損失）※1	2,021百万円
	繰延税金資産の一部取崩し	467百万円
当期	抗HIV薬販売権の返還に係る譲渡益	40,614百万円
	事業構造改革費用（割増退職金等）※2	5,200百万円

※1 詳細につきましては、本日公表しました「2018年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」の「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」に記載しております。

※2 詳細につきましては、本日公表しました「2018年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」の「1. 経営成績等の概況（4）次期の見通し」に記載しております。

## ② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2018年12月期 実績 A	2019年12月期 予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	61,835	36,170	△25,665	△41.5
リオナ錠	6,603	7,150	546	8.3
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
レミツチ	11,598	6,450	△5,148	△44.4
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
アンテベート ※1	5,536	4,890	△646	△11.7
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ビオスリー	2,682	2,840	157	5.9
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
シダキュア スギ花粉舌下錠 ※1、2	405	2,750	2,344	578.6
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
ケイキサレート ※1	1,963	1,930	△33	△1.7
高カルウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
ミティキュア ダニ舌下錠 ※1	1,247	1,760	512	41.1
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
ロコイド ※1	1,541	1,570	28	1.8
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ゼフナート	1,454	1,450	△4	△0.3
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1	1,859	850	△1,009	△54.3
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
注射用フサン ※1	1,138	190	△948	△83.3
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
その他製商品	25,804	4,340	△21,464	△83.2
(うちHIV感染症領域)	(21,448)	(-)	(△21,448)	(-)

※1 自社品

※2 「シダキュア スギ花粉舌下錠」は、2018年6月より販売しております。

### (参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2018年12月期 実績 A	2019年12月期 予想 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	15,855	16,350	494	3.1
自社品比率 (%)	25.6	45.2	19.6	-

### ③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2018年12月期	2019年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
設備投資額	811	502	△309	△38.1
有形固定資産	660	292	△368	△55.8
無形固定資産	150	210	59	39.4

#### 設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資  
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

### ④ 非資金項目

(単位:百万円)	2018年12月期	2019年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
減価償却費	1,040	1,020	△20	△2.0
長期前払費用償却費	965	476	△489	△50.7

### ⑤ 配当

		2018年12月期	2019年12月期	増減	増減率 (%) (B-A)/A
		実績 A	予想 B		
1株当たり配当金	(円)	48	48	0	0.0
配当性向	(%)	115.6	6.0	△109.6	-

#### 【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。